

# 葛城地区管内大型店動向

奈良新聞 平成19年8月9日掲載記事

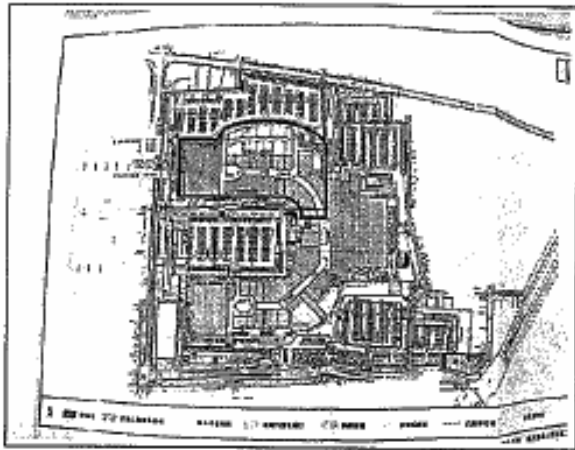
## 県内最大S Cへ

# 店舗増床届け出

## ダイヤモンド県、縦覧開始

橿原市曲川町の大型ショッピングセンター（SC）「ダイヤモンドシティ・アルル」の増床計画がまだ残り、異業種・商業施設間で大規模小売店立地競争に巻き込まれる懸念がスタートしていることが八日、分かった。ダイヤモンドシティ（東京都渋谷区）などが届け出したもので、現施設の北側に新設の建物を増床し、現在の店舗面積三万九千平方メートルを六万三千五百平方メートルに増床する計画。完成すれば、奈良ファミリー（奈良市西大寺東町）と、店舗面積約五万五千平方メートルを抜き、県内最大の大型ショッピングセンターになる。増床の変更届を平成二十年十一月十日としている。縦覧は本年十一月二十日まで。

## 新設で6万3500平方メートルに



計画によると、新設の建物と連結し現在、東西に伸びる（モール）ショッピング街（がさる）東から西に伸びる字型に伸びることになる。シャスコ種原店を核店舗に、シネコンのほか約三十三の専門店を設けるが、新たに二万四千五百平方メートルの店舗面積が増えるわけだが、どのような店舗構成を設けるのかは明らかでない。

ダイヤモンドシティ・アルル一階の増床計画。太線で囲んだ部分が増床分である。店舗内を「U」字のようにつなぐ遊歩道の通路が特徴。

このほか、今回の増床によって駐車台数が三千三百台から四千九百四十五台に拡大することも示された。新設の建物内に六百台が収容されるほか、平面駐車場が拡大される。飲食を中心とする施設以外の施設面積は、これまで七千平方メートルだったが、一万五千平方メートルになる。

香芝にSC計画

一方、同級ではヤマダ電機（群馬県高崎市）とスパーのオークワ（和歌山市）が香芝市上市に家電量販店と食品スーパーからなるショッピングセンター「香芝アンターチェンジ北計画」（仮称）の立地を進めていることが分かった。

新設予定は平成二十年二月二十六日。現物は国道168号沿いで西名阪自動車道の北側。香芝アンターチェンジにも近い。

店舗面積は四千八百七十五平方メートル。スパーは二千二百六平方メートルで四方合わせると七千八百一十一平方メートル。駐車場は四百五十四台収容。営業時間は家電店舗が午前十時から午後十時、スパーは食料品と日用雑貨を扱い二十四時間営業を予定。

御所にオークワ

このほか、オークワは御所市東の国道24号沿いに約一万九千平方メートルの敷地を確保、店舗面積六千九百八十五平方メートルの「スパーセンターオークワ御所店」（仮称）の平成二十年一月十日を開業日として店舗のオープンを計画している。駐車場は四百六十三台を収容。営業時間は午前九時から午前零時まで。食料品を核に住・生活関連商品の販売を予定している。

### 《政府広報》 だから、私は模造品・海賊版を買わない

本物を作り出した起業などから創作意欲を奪うだけではありません。その売上の一部は犯罪組織の資金源となります。又、工業部品等の模造品は、私たちの安全をも脅かします。



だから、私は買わない

詳しくはHP (<http://www.meti.go.jp/policy/index.html>)

経済産業省